

## 北九州港にさらに新規航路開設 ～東南アジア航路～

新規航路開設に沸いた2010年から新年の幕開けにふさわしく、今年さらに1航路月4便が開設されることとなりました。増設されるのは、SITC Container Lines（以下SITC）の、北九州と華北～華南～フィリピンを結ぶ東南アジア航路で、SITCは、今年、北九州から華南地域・ベトナムへの航路を拡大し、今回と合わせ、華南、東南アジア方面への航路が充実してきました。

- 1 船社 SITC Container Lines（新海豊集装箱運輸有限公司）/中国船社
- 2 代理店 東海運株式会社
- 3 航路 門司～大阪～神戸～石島～青島～大阪～神戸～名古屋～寧波～上海～廈門～汕頭～マニラ～香港～蛇口～博多
- 4 投入船
  - (1) SITC DALIAN (787 TEU)
  - (2) SITC QINGDAO (787 TEU)
  - (3) CAPE CHARLES (834 TEU)
  - (4) SITC YOKOHAMA (831 TEU)
- 5 航路特徴
  - (1) 輸出サービスの充実 華北地域  
石島への初寄港（北九州の航路では唯一）  
青島への増便（週1便 2便）。
  - (2) 輸入サービスの充実 華南地域  
マニラからの直航サービスの増便（週1便 2便）。  
香港、蛇口～北九州が増便（週1便 2便）。
- 6 SITC について
  - (1) アジア屈指のコンテナキャリア

中国船社で、1992年、日中航路を開設。以来、日本～中国以外にも、香港、台湾、韓国、東南アジアとのコンテナ航路を拡大し続けており、近年は特に東南アジア航路に力を入れています。現在、これらの地域の30有余の主要港（門司を含む）に、42隻のコンテナ船を投入しています。2009年の取扱いコンテナ数は165万TEUであり、アジアでも屈指のコンテナキャリアといえます。

(2) 北九州港最大の航路数 - 6 航路月 28 便

SITC は、今回の新規航路を加えると、北九州港での航路として、 東南アジア航路：4 航路月 16 便（ハイフォン、マニラ、レムチャバンなど） 中国航路：1 航路月 4 便（青島、連雲港など） さらに 他社との共同配船航路：1 航路月 8 便（煙台、大連、天津新港、上海）を有し、6 航路月 28 便となります。航路数は、24 船社中トップです（2 位はCK LINE の3 航路）。

7 歓迎訪船

(1) 日時 平成23年1月5日（水） 時間未定（4日にFAXいたします。）

(2) 場所 太刀浦コンテナターミナル第1コンテナヤード  
SITC QINGDAO

(3) 内容

歓迎の挨拶

ポートアテンダントによる花束贈呈

写真撮影

**歓迎訪船の取材をご希望の方は、税関申請が必要となりますので、お  
手数ではございますが、1月4日17時までに、物流振興課までご連絡  
いただけますようお願いいたします。**



問い合わせ

北九州市港湾空港局物流振興課

電話：093-321-5941

担当：秋貞（あきさだ）、菅（すが）